



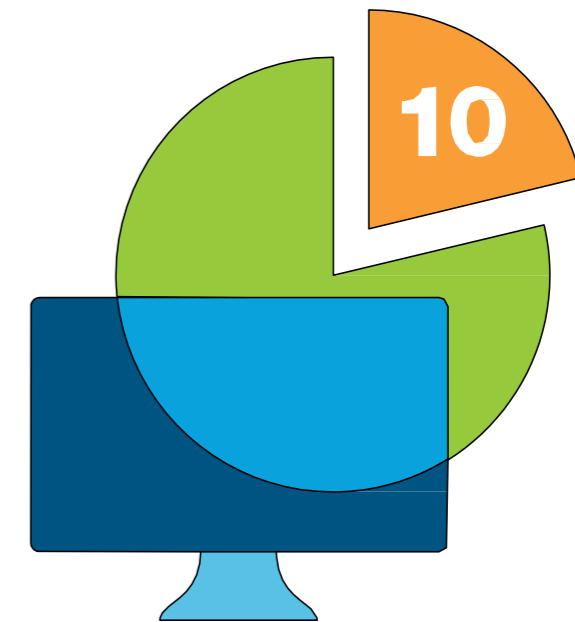
Windows 10 への移行の下準備：
ブランチと累積更新プログラムに関する 5 つの重要事項

ivanti

はじめに

Windows 10 の更新を行う体制は整っていますか？それとも Windows 10 の更新はすでに頭痛の種になっていますか？

Ivanti にはこのトピックについて数多くの質問が寄せられています。そして当社のセキュリティコンサルタント、スティーブン・ブラウンがこのトピックに対して何かを書こうとすると、毎回長文になってしまいます。そこで本書では、このトピックに関する膨大な情報をいくつかのわかりやすい記事としてまとめ、Windows 10 の更新を皆様が乗り越えられるようサポートします。本書に掲載されている記事は、今後時間の経過と共に更新が必要になるかもしれませんが、Windows 10 を展開する、もしくはさらに展開を続ける上で知っておくべき情報を理解する上で必ず役立ちます。



**Windows 10 は Windows
インストールの 21% を占めています。**

NetMarketShare

Windows 10 の更新の概要

Windows 10 に関しては基本的に 2 種類の更新があります。

1. ブランチアップグレード
2. 累積更新プログラム (パッチ)

いずれも Windows 10 で初めて導入された種類の更新で、それぞれについてかなりの情報が提供されています。

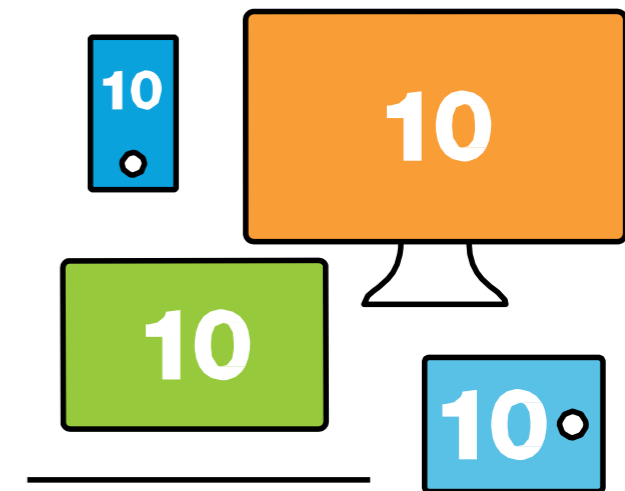
そこで本書では、各仕組みをいくつかのサブトピックに分けて説明いたします。

Microsoft から提供されている情報は、

複雑かつ継続的に変更されるため、おそらく混乱の原因となるでしょう。

更新の種類 1：ブランチアップグレード

本セクションと次のセクションは、後続のトピックの「予告編」としてお読みください。ブランチアップグレードは Windows 10 の累積更新プログラムより前に行う手順のため、累積更新プログラムに触れる前に、ブランチとアップグレードについて理解することが重要となります。Windows 10 を展開するにあたって、次のポイントを考慮する必要があります。1) ブランチアップグレードプロセスと容量。2) ブランチのリリース頻度。3) ブランチの種類。4) 選択するブランチに関連する事項。詳細を徹底的に調べる準備が必要です。



Microsoft は現時点で、**Windows 10** が使用されているデバイスは **3 億 5,000 万台**だと正式に発表している。

ドリュー・スミス (2016 年 6 月 29 日)

更新の種類 2：累積更新プログラム（パッチ）

Windows 10 の更新、すなわちパッチアップグレードは、

Ivanti がこれまでの Windows のバージョンで体験してきたこととはまったく異なります。本書ではこの種の更新について軽く触れるに留めますが、ブログの投稿や、パッチ適用およびセキュリティに関連する公開資料などで詳細については触れていきたいと思えます。

皆様が多忙であることを考慮し、本書に掲載されているすべての記事に、重要事項をまとめた「まとめのセクション」が含まれています。これらの重要事項を上司やチームと共有してください。「はじめに」のセクションの重要事項は以下の通りです。

- Windows 10 には、ブランチアップグレードと累積アップグレードという新しい更新の仕組みがあります
- いずれの仕組みもこれまでの Windows で使用されていた仕組みとは大幅に異なります
- 安定した安全な環境を維持するために、Windows 10 へのアップグレードの影響を理解することが極めて重要となります



PC を使っているなら Windows 10 へのアップグレードは避けられません。最終的には、すべての企業が Windows 10 を使用することになるでしょう。

*「Ten Things You Need to Know About Windows 10
for a Successful PC Deployment」*

(PC 展開を成功させるために Windows 10 について知っておくべき 10 の情報)

ガートナー、2015 年 7 月 27 日

Windows 10 のブランチの概要

「はじめに」では Windows 10 の更新について大まかな内容をお伝えさせていただきましたが、早速ブランチについて詳細を見ていきましょう。Windows 10 の更新を効率的に行うには、Windows 10 のブランチを理解することが極めて重要となります。

ブランチは、数多くの新機能や修正を Windows 10 に提供する新たな仕組みです。Windows 10 のブランチアップグレードはサービスパックのようなものであると簡単に言うのは公平ではありませんが、この 2 つは極めて類似しています。事実、ブランチアップグレードは、サービスパックとオペレーティングシステムのやや中間にあるものです。新機能と修正の組み合わせである点はサービスパックに類似していますが、頻度、容量、アップグレードがユーザーに与える影響が異なります。

ブランチの種類

サービスパックとは異なり、ブランチには数多くの種類があります。以下の表には、ブランチの種類と主な特徴がまとめられています。

ブランチ	リリース頻度	最低サポート期間
Insider Preview	継続的	なし
Current Branch (CB)	年に 2~3 回	4 ヶ月
Current Branch for Business (CBB)	CB 後最長 4 ヶ月	8 ヶ月
Long-Term Servicing Branch (LTSB)	2~3 年	10 年



Long-Term Servicing Branch (LTSB) は、これまで 2~3 年に 1 回実施されてきた Windows のメジャーアップグレードに類似しています。

Windows 10 のブランチの概要(続き)

ブランチ VS サービスパック

Windows のサービスパックと比較して Windows 10 ブランチについて理解を深めるため、いくつかの主な特徴を見ていきましょう。

	Windows 10 のブランチ	これまでの Windows のサービスパック
リリース頻度	ブランチの種類によって異なります	数年毎
容量	最大 4GB*	½～1GB
アップグレードがユーザーに与える影響	高	中
2～3年	10年	

*ブランチの種類によって異なります

容量が問題

サービスパックの容量が大きいと思っていた方にとってブランチアップグレードは覚悟が必要です。事実、ブランチアップグレードは、オペレーティングシステムの完全なインストールで、そのオペレーティングシステムから初期イメージを作成することになる可能性があります。ブランチアップグレードは、既存の環境およびローカルストレージにこれまでのサービスパックよりもはるかに大きな影響を与えることとなります。以下の表は、これまでの Windows のサービスパックと比較し、Windows 10 の 1511 を理解する上で役立ちます。

Windows 更新プログラム	x86 の場合の容量 (MB)	x64 の場合の容量 (MB)
Windows Vista サービスパック 2	475	745
Windows 7 サービスパック 1	542	912
Windows 10 1511 ISO	3,400	4,116



Windows 10 の更新は Windows 7 のサービスパック更新の容量の 4 倍以上です。

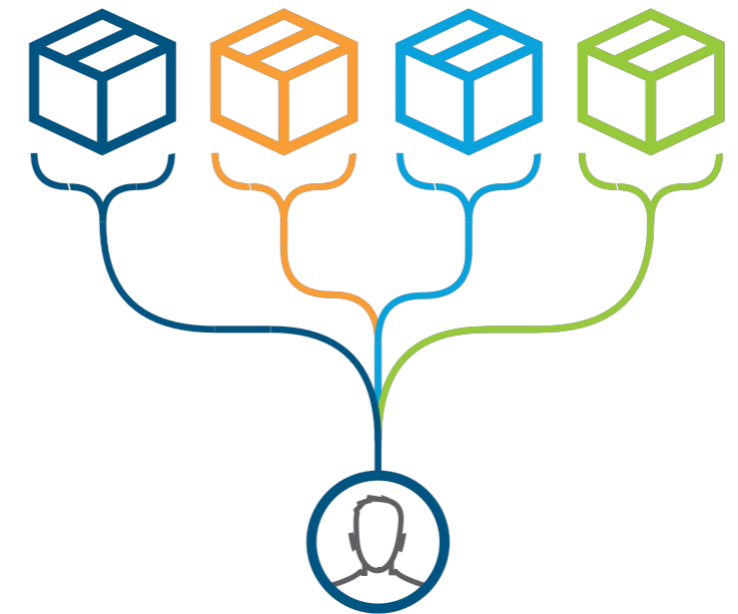
Windows 10 のブランチの概要(続き)

重要事項

必ず同僚や上司とこれらの重要事項を共有してください。

- Windows 10 のブランチは、新しいサービスパックですが、従来のサービスパックとは大きく異なります
- 相違点には、容量が大きいこと、頻度が高いこと、アップグレードの影響が大きいことが含まれます
- 選択できるブランチが 4 種類あります：Insider Preview、Current Branch、Current Branch for Business、Long-Term Servicing Branch

基本的な内容をご覧いただきましたので、Insider Preview ブランチから順番に各ブランチについて詳細を見ていきましょう。



選択できるブランチが 4 種類あります：
Insider Preview、Current Branch、Current Branch for Business、Long-Term Servicing Branch。

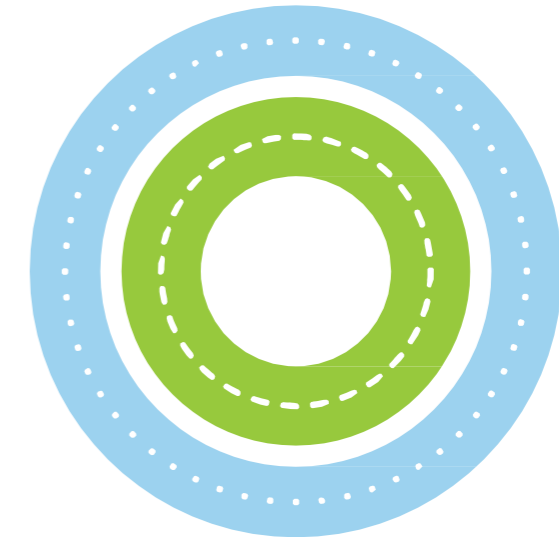
INSIDER PREVIEW ブランチ - 頻度が高く影 響が多大

前の「Windows 10 のブランチの概要」セクションでは、Windows 10 の Insider Preview ブランチの説明を始める前の基本的な情報をお伝えさせていただきました。Insider Preview ブランチは、技術部門の専門スタッフにとってのみ役立つブランチだと見られがちですが、新機能や今後のアップグレードによって生じる可能性のある問題について早い段階で情報を得るために活用できる価値があります。このブランチを検討する前に、理解しておく必要がある細かな点がたくさんあります。

Ivanti では、製品管理部門のレックス・マクミランが 1 年以上前から Insider Preview を実行しています。これから紹介する情報や見解は、ほぼすべてレックスの体験談に基づいています。

サインアップ

Windows 10 の Insider Preview はかなり簡単に利用できます。[設定] > [更新とセキュリティ] > [Windows Update] > [詳細オプション] にアクセスするだけです。Microsoft のアカウントを使用すると、Insider Preview 向けにお使いのコンピューターを登録し、設定できます。Microsoft は、インサイダーになるプロセスを簡易化しています。インサイダーの数は増加しており、このコミュニティが Windows をテストし、改善を支援しています。インサイダーには、限定イベントの招待が送られます。問題の報告やクエストへの参加を奨励するため、インセンティブも用意されています。



Microsoft は、前例がないほど多くの Insider Program に登録したユーザーが最新ビルドのインストールとテストに参加していることを正式に発表しています。人々によって **5 万年以上に相当する時間がファーストリングとスローリングモードに費やされています。**

ファハド・アリ、*「Insiders Behind Over 5,000 New Changes In Windows 10」* (Windows 10 の新たな変更を支えた 5,000 件以上のインサイダー、2016 年 7 月 25 日)

INSIDER PREVIEW ブランチ (続き)

ファーストかスローか？

Windows 10 の Insider Preview ブランチには、2 つの提供モードがあります。それが、ファーストリングとスローリングです。



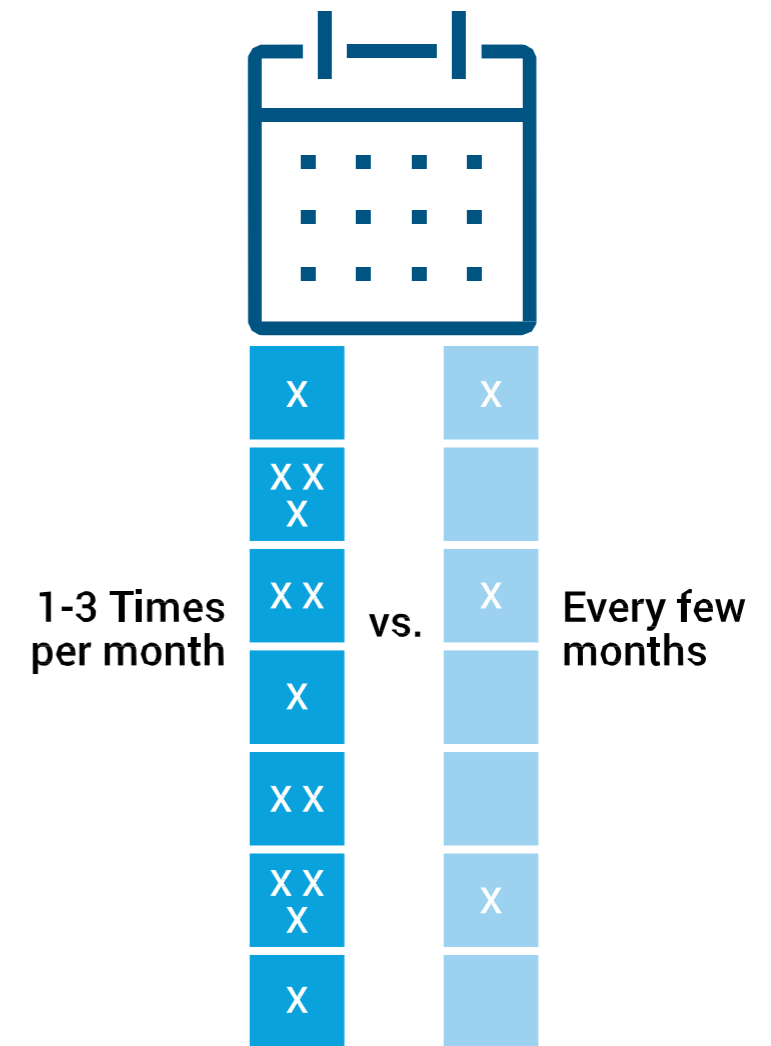
ファーストリング

- 累積更新プログラムで、月に 1~3 回リリースされます
- ビルド 14251 リリースノートで指摘された多くの変更やバグが含まれています。レックス・マクミランは次のようにコメントしています。「ファーストリングで **Windows** のインサイダーにビルドを早くリリースするための変更により、前回のビルドのバグなどが出現することになることを繰り返し主張したいと思います。これらのバグが修正されるまでに、いくつかのビルドが公開されることがあります。さらに、社内のテストでは見つからなかったバグが、リリースに含まれる場合もあるかもしれません」



スローリング

- 更新は累積更新プログラムですが頻度はかなり低く、数ヶ月に 1 回リリースされます
- バグ修正が多く、ファーストリングよりも安定しています



INSIDER PREVIEW ブランチ (続き)

更新

ビルドが利用できる場合、通知され、更新を進めることができます。これらは大規模更新であることがほとんどで、多くの製品をアップロードし、Win PE モードに再起動して、その後通常の Windows を起動する必要があります。最新のビルドにおいて、レックス・マクミランはファーストリングでコンピューターを最新のビルドに更新するのに 20 分以上かかったことを確認しています。

体験談

レックスは、Insider Preview のファーストリングを使用することについて多くの見解を持っています。レックス自身はビルドで不満を感じたことは一度もないそうですが、ハードウェアの互換性の問題に遭遇した人々の話を聞いたことはあると言います。昨年、レックスはかなり不安定で時々クラッシュするバグが生じたビルドを経験したと言います。最大の課題は、更新するタイミングです。レックスは、問題が生じた場合を想定して 1 時間のダウンタイムを計画するようにしています。

使用する場合

不安定性を考慮した場合、おそらく Windows 10 Insider Preview を使用するかどうか悩まれると思います。Insider Preview で一部のコンピューターを実行することによって企業にもたらされる最大のメリットは、今後の Current Branch や Current Branch for Business ビルドに影響する可能性のある変更を早い段階で認識できる点です。



**Windows のインサイダーは、
7,500 万件を超えるフィードバック
をログインしており、**

これは、アニバーサリーアップデートへ
5,000 件以上の変更と改良につながりました。

ファハド・アリ、*「Insiders Behind Over 5,000
New Changes In Windows 10」* (Windows 10 の
新たな変更を支えた 5,000 件以上のインサイダー、
2016 年 7 月 25 日)

INSIDER PREVIEW ブランチ (続き)

Insider Preview は、既知の問題を見直し、バグを送信する「フィードバック Hub」を提供しています。また、エンドユーザーの環境との潜在的な対立に関して早い段階で情報を提供するため、Current Branch で一部のシステムを実行し、Current Branch for Business でその他の多くのシステムを実行することができます。Insider Preview を実行するもうひとつの理由（おそらく他の理由よりも重要）は、今後永遠に終わることのなく次々に登場する新機能に慣れることです。

重要事項

Windows 10 の Insider Preview に関する重要事項は以下の通りです。

- 2 通りの更新頻度、ファースト（月に 1~3 回）とスロー（数ヶ月に 1 回）が提供されます
- 問題に関する警告を早い段階で知るため、システムの基準と照らし合わせてテストするために使用できます
- 業務を妨害する可能性があるため、IT 部門と強いつながりのある、高度な技術を熟知しているユーザーのみが使用するべきブランチです
- 生産システムで広範囲にわたって展開すべきではありません



(Insider Preview) は、問題に関する警告を早い段階で知るため、システムの基準と照らし合わせてテストするために使用できます

CURRENT BRANCH- 最も一般的

Windows 10 Current Branch は、Windows 10 のデフォルトのサービスモードで、定期的に安定した更新を提供します。従来の Windows サービスパック（数年に 1 回）よりもかなり早いペース（年に 2~3 回）で更新が行われるだけでなく、容量も大きく、業務への支障も大きくなります。

ブランチアップグレード

Current Branch は、年に 2~3 回アップグレードをリリースします。本書作成時点で Ivanti には GA リリース（1507）、2015 年 11 月の更新（1511）、最新のアニバーサリーアップデート（1607）があります。括弧内の数字は、「年 2 桁+月 2 桁（YYMM）」の命名法に従って付けられたバージョンを示す名前です。さらに、定期的な更新（火曜日のパッチなど）もあります。



Windows の旧バージョンと比較すると
Windows 10 デバイス 1 台
あたりの **Bing 検索クエリ** は約
30%増加しています。

ジョエル・フルシュカ (2016 年 1 月 7 日)

CURRENT BRANCH (続き)

ブランチ更新は容量が大きく、完全インストールとアップグレード両方の役割を果たします。1511 ISO は、実に 3.3GB (x86) と 4.0GB (x64) もの容量を必要とします。

本書の「Windows 10 のブランチの概要」セクションで説明した通り、ブランチ更新は、サービスパックというより、OS アップグレードに近いものです。サービスパックとブランチアップグレードのもう一つの大きな違いは、ユーザーエクスペリエンスです。ブランチアップグレードは、コンピューターを再起動するか、少なくとも、ユーザーが一切操作できない更新モードに切り替えます。

スティーブン・ブラウンが 2GB の RAM と 2.3 GHz i7 プロセッサの 1 プロセッサコアを使用して仮想マシンで実施したテストで、更新の再起動/更新モードにあたる部分に要した時間（再起動してからデスクトップを利用できるようになるまでの時間）は 25 分未満でした。これは、ほぼすべてのエンドユーザーや企業にとっては、永遠のように感じられるダウンタイムです。アップグレードの容量とユーザーへの影響は、このプロセスを最適化するためにパッチ管理ソリューションを使用する主な理由となります。

Win10



Windows 10 への移行は避けられず、
2016 年以降エンドユーザーであるコンピューター
を使用する企業にとっては、優先事項のリストの
中でも最重要事項になるでしょう。

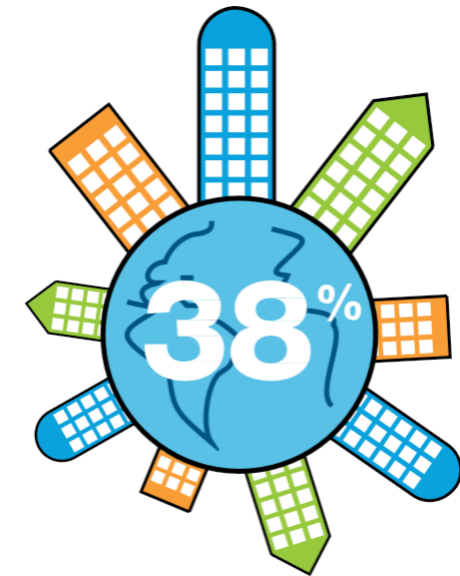
スティーブン・クレインハンス
「Deciding When to Migrate to Windows 10」
(Windows 10 への移行時期を決める)
(ガートナー、2015 年 10 月 16 日)

CURRENT BRANCH (続き)

更新の存続期間

Current Branch には大きな謎があります。更新やアップグレードのための Windows 10 のサービスオプションに関する Microsoft の記事を読むと、読者はセキュリティ更新が最新の Current Branch のみに提供されると思い込んでしまう傾向にあります。実際には、1507 と 1511 ブランチ向けに Microsoft はセキュリティアップグレードを提供しています。

後続のブランチが Current Branch for Business として公表されるまで、最新および以前のブランチには更新が提供されると当社は理解しています。つまり、アニバーサリーアップデート (1607) が Current Branch for Business として公表されるまで、1507 (および 1511) にはサービスが提供されるでしょう。そして 1607 が Current Branch for Business として公表されると、1507 には更新が提供されなくなるでしょう。これが事実であるかは今後の展開を見守る必要があります。もしこれが事実であるならば、先に備えて今すぐお使いの 1507 システムを 1511 に更新する必要があります。



2016 年 6 月 30 日時点で、世界中の企業の 38% が Windows 10 を導入しています。このうち大部分の企業 (58%) がすでに実環境に実装している一方、残りの企業 (42%) はまだテスト中と回答しています。

*「Windows 10 Adoption: Sprinting out the Gate」
(Windows 10 の導入：実装の先送り)
(Spiceworks、2016 年、6 月 30 日)*

CURRENT BRANCH (続き)

使用する場合

多くの小規模企業にとって **Current Branch** はおそらく推奨されるオプションです。一方、**Current Branch** は更新の頻度が高く、アプリケーションの安定性を妨げる可能性があるため、大企業にとっては理想的なオプションでない可能性があります。**Current Branch** が理想的なオプションではない場合、問題を修正するため複数の更新を追加する **Current Branch for Business** を検討することが望ましいでしょう。つまり、本書の Windows 10 の「Insider Preview ブランチ」のセクションでご説明したのと同じアプローチをとり、デスクトップの不安定性を早い段階で示すインジケータとして **Current Branch** を使用することが企業にとっては望ましい可能性があるということです。**Insider Preview** とは異なり、**Current Branch** ははるかに安定したものになり、**Current Branch for Business** がリリースされる前に少なくとも 4 ヶ月のプレビュー期間を提供するでしょう。

重要事項

Windows 10 の **Current Branch** に関するまとめ：

- **Current Branch** は Windows 10 のデフォルトの定期更新
- 年に 2~3 回の更新が期待されます
- **Current Branch** アップグレードは大容量 (3~4GB) で、これまでの Windows のバージョンで言うと、サービスパックというよりはむしろ、オペレーティングシステムのアップグレードに近いものです
- 最新のブランチが **Current Branch for Business** として公表されるまで、現在およびその一つ前のブランチでもセキュリティ更新がサポートされます
- 安定性には優れていますが、**Current Branch for Business** は互換性を評価するため追加の時間が必要となります

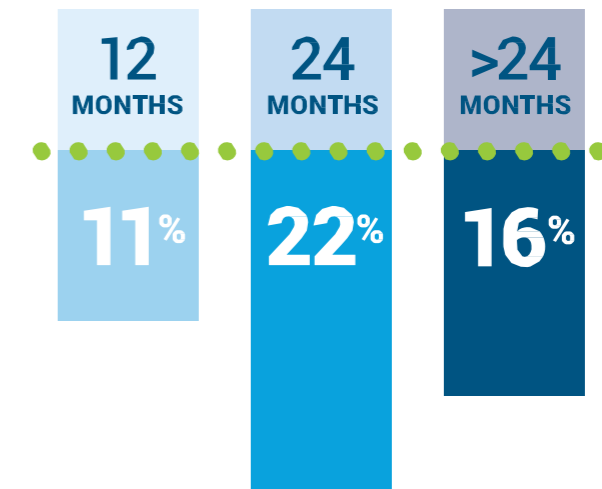


最新のブランチが **Current Branch for Business** として公表されるまで、現在およびその一つ前のブランチでもセキュリティ更新がサポートされます。

CURRENT BRANCH FOR BUSINESS – エンタープライズ向け

Windows 10 の Current Branch for Business (CBB) は Current Branch にとてもよく似ていますが、ゆっくりと適用でき、サポート期間が長い点が異なります。この長い期間により、Microsoft は新しいブランチの機能に関するフィードバックを収集し、修正を提供する時間を確保できます。

現時点で、CBB は 2 回リリースされています。最初のリリースは、1507、すなわち GA リリースでした。2016 年 4 月 8 日、Microsoft は 1511 (2016 年 3 月の累積更新プログラムを含む) を次の Current Branch for Business として正式に発表し、これが 2 回目のリリースとなりました。現時点でこの 2 回目のリリースは利用できる状態にはなっていませんが、Windows Update およびボリュームライセンスサービスセンターと MSDN で公開される予定です。更新を公開するまでに 1 ヶ月以上かかるというのはやや理解し難いですが、これが最初の CBB 更新です。今後の更新がどのように進むか経過を見ていく必要があります。



一部の企業はスタート位置に立っているものの、何もしない状態に甘んじているようです。一方 Windows 10 の実装を計画している企業のうち、11%が 12 ヶ月以内の実装を予定しており、22%が 1 年～2 年以内、16%が 2 年以上かかるが実装を予定していると回答しています。

*「Windows 10 Adoption: Sprinting out the Gate」
(Windows 10 の導入：実装の先送り)
(Spiceworks、2016 年、6 月 30 日)*

CURRENT BRANCH FOR BUSINESS (続き)

チェックボックスでの設定

Windows 10 を Current Branch for Business に切り替えるのはひとつの小さなチェックボックスです。登録が必要な Insider Preview とは異なり、Current Branch for Business に移行するためにやるべきことは、[設定] > [更新とセキュリティ] > [Windows Update] > [詳細オプション] ダイアログにある [アップグレードを延期する] のチェックボックスを選択することのみです。

ローカルポリシーまたはグループポリシー設定を使用して、アップグレードが利用できるようになってから最大 8 ヶ月アップグレードを延期する設定を行うこともできます。環境への影響を評価するため、段階的に更新を展開していくことが賢い戦略となるでしょう。



アップグレードの延期は、企業が選ぶ
選択肢である必要があり、自動更新
は、より消費者や家庭でコンピュー
ターを使用しているユーザー向けの
選択肢でしょう

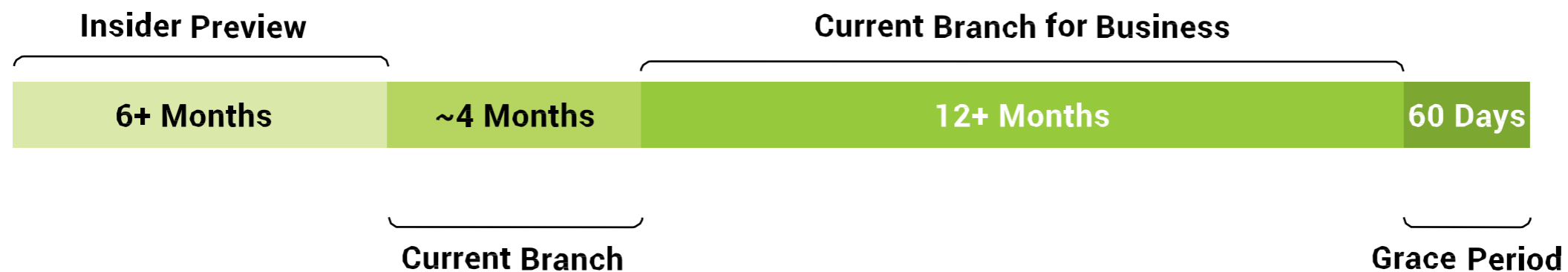
CURRENT BRANCH FOR BUSINESS (続き)

ブランチアップグレード

Windows 10 の Current Branch for Business は、Current Branch と極めて類似した方法でアップグレードすることが期待されています。本書の Windows 10 Current Branch のブランチアップグレードに関するセクションを見直し、アップグレードについて理解を深めてください。Current Branch の説明でもお伝えした通り、これはサービスパックではありません。容量、かかる時間、ユーザーへの影響を考慮すると、このプロセスはむしろオペレーティングシステムの更新に近いプロセスです。

更新の存続期間

Microsoft は、Current Branch for Business には最低 8 ヶ月のサービス期間があると発表しています。また、サービスは Current Branch for Business の現在および前のバージョンに提供されるようです。3 つめのブランチはまだ公開されていませんが、これが公開された場合、一番古いブランチのサービス更新のサポートが終了となることを見込んでいます。この見込みシナリオは最新のブランチが利用できるようになったらすぐに、最も古いブランチのシステムに新しいブランチを展開すべき正当な理由となるでしょう。これにより、システムがセキュリティ更新のサポートのない状態になることを防ぐことができるでしょう。



CURRENT BRANCH FOR BUSINESS (続き)

使用する場合

デスクトップの安定性が重要な企業にとって、**Current Branch for Business** はふさわしい選択肢となります。**Current Branch** は、数多くの新機能や変更を提供する一方潜在的なリスクが生じる可能性があります。しかし、**Current Branch for Business** には、最低 4 ヶ月分の修正が含まれています。

重要事項

Windows 10 の **Current Branch for Business** に関するまとめ：

- CBB は、**Current Branch** がリリースされてから通常 4 ヶ月後に提供されるいくつかの修正が含まれた **Current Branch** です
- アップグレードは利用できるようになってからさらに 8 ヶ月延期できます
- **Current Branch** 同様、アップグレードのプロセスは重要となります

Current Branch for Business でさえ、更新の速度はこれまでの **Windows** のバージョンよりはるかに速いです。**Long-Term Servicing Branch** は、機能の更新頻度を最小限に抑える最適な選択肢です。これについては、本書の次のセクションで詳細をご説明いたします。



8 MONTHS

(CBB) アップグレードは
利用できるようになってから
さらに 8 ヶ月延期できます

LONG-TERM SERVICING BRANCH - 変更を嫌う方のためのブランチ

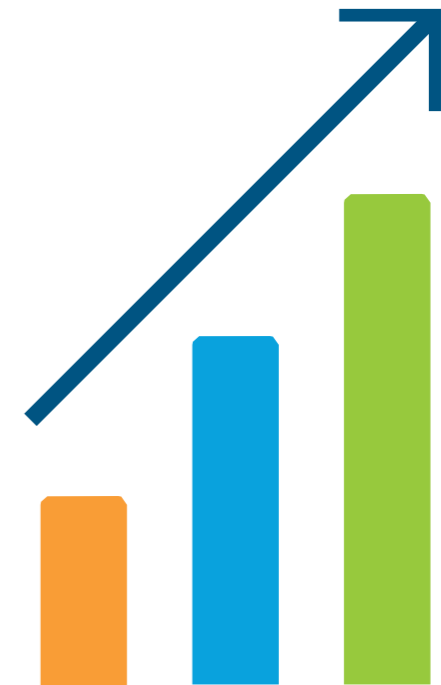
Windows 10 の Long-Term Servicing Branch（長いので以降「Windows 10 LTSB」、「LTSB」と呼びます）は、変更の影響を受けやすく、高いレベルの安定性が求められるシステムを対象としています。ただし安定性の強化には代償が伴います。事実、費用がかかり、一部の機能の利用を諦める必要があります。

他のブランチと Windows 10 LTSB の違い

他のブランチとの大きな違いと多くの企業が Windows 10 LTSB を前向きに検討する理由は更新モデルです。他のブランチとは異なり、LTSB は 2~3 年に 1 回の機能の更新のみを対象としています。また、セキュリティ更新のライフサイクルが長く、10 年間のサポートが提供されます。Ivanti のスティーブン・ブラウンは、Windows 10 LTSB を「私たちが知っている Windows」と親しみを込めて呼んでいます。

LTSB は他のブランチとサービスモデルが異なりますが、これに加え、LTSB では他のブランチで使える Windows 10 の機能が一部失われます。LTSB で利用できない機能は以下の通りです。

- Microsoft Edge ブラウザ
- Windows ストア
- ユニバーサル Office および一部のユニバーサルアプリ



他のブランチと Windows 10 LTSC の違い (続き)

2016 年 4 月時点で Edge ブラウザの利用者は全体のわずか 1.2% (w3schools.com 調べ) か 4.7%

(NETMARKETSHARE 調べ) かに過ぎないため、これらの機能の廃止を好意的に受け取るユーザーは実際にいるでしょう。

いずれにしても Edge は誕生してから 10 ヶ月、たいした能力を発揮していません。

Windows ストアに関しては、

生産性を後押ししない数多くのゲームやエンターテインメントが含まれ消費者向けの機能色が強いため、多くの企業がエンドユーザーに対して Windows ストアを有効にしたくないと考えています。ところが Microsoft は逆に、Windows Store を有効にしたいと考えたようです。最近 Microsoft は、Education と Enterprise を除き、すべてのバージョンでグループポリシーを使用して Windows ストアを無効にする機能を排除しました。

Windows 10 LTSC のインストール

Windows 10 の他のブランチとはことなり、LTSC は別途インストールする必要があります。つまり、再インストールせずに、Current Branch や Current Branch for Business へ、もしくはこの 2 つのブランチから移行する機能はないということです。LTSC から他のブランチへ移行する、もしくは他のブランチから LTSC へ移行するためには完全な再インストールが必要となるため、企業は LTSC を使用する場合、慎重に考える必要があります。

インストールされると、ルックとフィールは Windows 10 の他のブランチとほぼ同じですが、前述の通り機能が不足しています。



LTSC は代償を伴います。さらなる安定性を得るため、利用できる機能が失われます。

LONG-TERM SERVICING BRANCH (続き)

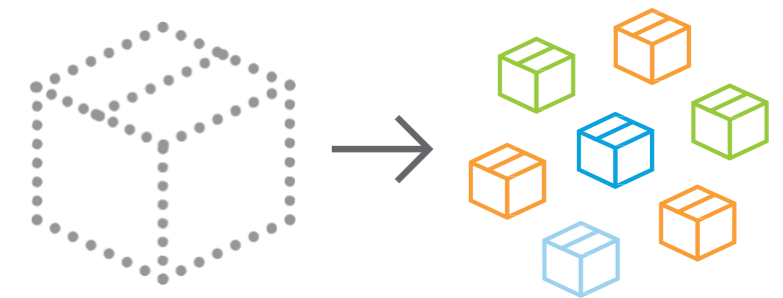
LTSB はコストがかかる

ここで残念なお知らせがあります。Windows 10 LTSB には特別なライセンスが必要となります。Education をお使いのお客様には大変残念なお知らせですが、LTSA が利用できるのは Enterprise エディションのみとなります。また、中小企業のお客様には大変残念なお知らせですが、LTSA はボリュームライセンスでのみ提供されます。(ブランチではなく)フルエディションの比較については、Microsoft の「Windows 10 エディション別比較表」のサイトを参照してください。

スティーブン・ブラウンには価格について賛否分かれる意見が寄せられていますが、ほぼすべてのお客様が LTSA を追加するコストについて、法外な価格だと感じています。一社だけ、この価格を妥当な価格として受け止めた企業がありました。LTSA の利用を希望しているのであれば、要するに、余分なコストを費やす覚悟で計画を立て、購買部門の優秀な社員を価格設定に関与させる必要があるということです。

使用する場合

Windows 10 LTSA は、製造管理システムや医療機器の管理システムなど変化の影響を受けやすいコンピューターを対象としています。したがって、Current Branch や Current Branch for Business の頻繁なアップグレードや、新機能のリスク、寿命の短さは、企業が多くのシステムで LTSA を使用したいと思う原因となる場合があります。



Windows 10 は、今後メジャーアップグレードを行う代わりに、継続的に小規模の更新を提供します。

企業は、変更管理と展開プロセスに適応していく必要があります。

「Ten Things You Need to Know About Windows 10 for a Successful PC Deployment」

(PC 展開を成功させるために)

Windows 10 について知っておくべき 10 の情報

(ガートナー、2015 年 7 月 27 日)

LONG-TERM SERVICING BRANCH (続き)

重要事項

以下の重要事項を同僚や上司と共有してください。

- Windows 10 LTSB は、新機能が 2～3 年に 1 回追加されるという点で、Windows の旧バージョンと類似しています
- LTSB には、Edge ブラウザなど一部の比較的新しい機能が含まれていません
- Windows 10 LTSB は別途インストールする必要があり、ボリュームライセンスを通して Enterprise エディションでのみ購入できます
- LTSB は変更を最低限に抑えることを目的としているため、変更の影響を受けやすいコンピューターや企業に最適です

2016 年 4 月時点で、**Edge** ブラウザの利用者は、w3schools.com の調査では全体のわずか **1.2%**、NETMARKETSHARE の調査では **4.7%** であることが明らかとなっています。ただし、LTSB では Edge ブラウザは利用できません。

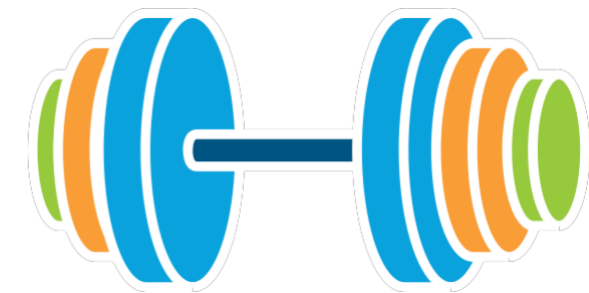
累積更新プログラム（パッチ）

Microsoft は、個別のパッチをリリースすることを止め、代わりに更新、パッチ、追加機能すべてを「累積アップグレード」と呼ばれる更新にまとめています。これらの変更や更新はすべてまとめて一度に提供されますが、お客様は更新するパッチやコンテンツを選択することはできません。すべてを更新するか、一切しないかの選択肢となります。これは、各累積更新プログラムを評価する方法に影響を及ぼします。

このプロセスにより、Microsoft は一部のエンジニアリングやテストプロセスを合理化できるため、これまでよりもタイムリーに更新を提供できるようになります。展開する累積更新プログラムをテストし、どの更新プログラムを展開するかは各企業次第です。

パッチと更新を提供するこの新たな方法により、1) ネットワーク全体の更新の容量や、2) 現行の環境を壊す可能性のあるリスクが各更新にあるか、といった懸念が生じています。しかしながら、Microsoft は、Windows 7 や Windows 8 など、主要な Windows 更新プログラムすべてを同様の累積更新プログラムモデルに移行しています。

厳しい更新スケジュールと更新の容量が原因で Windows 10 への移行をためらっているとしても、企業は移行するか否かに関わらず、この問題に対処しなければならなくなるでしょう。



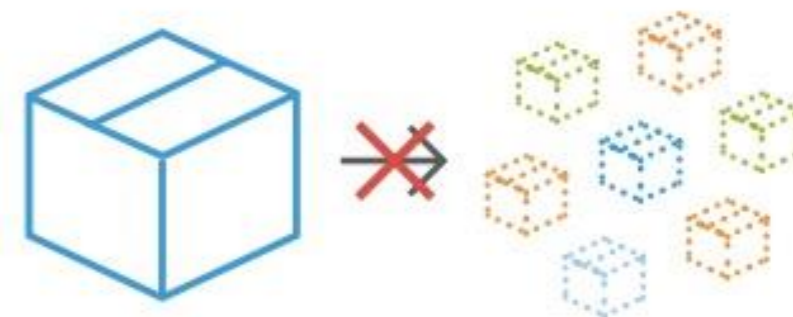
過去を振り返ると、累積
パッチは、1ヶ月あたり **6.4%**の速度
で成長しています

累積更新プログラム（パッチ）（続き）

重要事項

Windows 10 への移行計画を立てる際に、念頭におくべきポイント：

- パッチと更新は月に 1 回提供されますが、展開するか否かは選択できます
- 累積パッチを個々のパッチに分けることはできないため、希望のパッチのみを展開することはできません
- Microsoft は OS アップグレードすべてをこの提供モデルに移行しています - もはや Windows 10 だけにまつわる問題ではなくなっています



累積パッチを個々のパッチに分けることはできないため、希望のパッチのみを展開することはできません

推奨される次のステップ

Microsoft が提供している異なるアップグレードとブランチについて理解すると、自社に適したアップグレードやブランチ戦略をこれまでよりも的確に特定し計画を立てられるようになります。

Windows 10 を展開する際、ブランチのアップグレードプロセスと容量、ブランチのリリース頻度、ブランチの種類、選択するブランチに関連する事項を検討する必要があります。

アップグレードからメリットを得るために、まず自社に必要な機能やメリットを評価することを当社は推奨しています。また、希望の更新頻度や、更新が可能な頻度を特定してください。変更と機能の更新を天秤にかけた時に、どの程度変更したくない気持ちが勝っているかを把握できるでしょう。

次に、アップグレードにまつわるリスクや懸念事項を評価してください。これらの情報を把握していれば、選択すべき戦略がはっきりし、移行やアップグレード/ブランチに関する戦略を詳細に計画できるでしょう。

Copyright © 2016, Ivanti Software, Inc. 本書には、Ivanti Software の機密情報が含まれています。Ivanti は、本書に掲載されている情報に対しいかなる保証もしません。また、本書に含まれる誤りに対して一切の責任を負わず、本書に記載されている情報を更新する義務を負いません。IVI-1712 08/16 SB/AS/BB/DL

当社が Windows 10 の更新や管理をどのように支援できるかに関する詳細について話し合いの機会を希望される場合は、当社までお問い合わせください。

**担当者へのお問い合わせ：
03-5226-5960**

**メールでのお問い合わせ：
Contact-Japan@ivanti.com**

各国支社のお問い合わせ先については、
**<http://www.ivanti.co.jp/>に
アクセスしてご確認ください**